



ひんやりと冷たい風が、本格的な冬の訪れを感じさせる季節になってきましたね。日中は外で元気に遊びたいけど、寒くてなかなか……

そんな時は！公立保育園で園開放『きてみて あそぼ！』を行っていますので、園見学をかねて遊びにきませんか。ご興味のある方はお近くの保育園にお問い合わせください。（詳細は裏面をご覧ください）

また、「にこにこだより」では、遊びのヒントや栄養士による『食』のアドバイスもご紹介します。おたのしみに！



印西市立保育園から子育て情報をお届けします。



身近なもので遊ぼう

きょうはなにで遊ぶ？
～洗濯ばさみではさんで遊ぼう～



【用意するもの】

- ☆洗濯ばさみ（あまりばねが強くない方が初心者向けです）
- ☆段ボールや厚紙（お菓子の空箱などでも可）
- ☆折り紙やマーカー、シール、のりなど（飾りつけする場合）

今回は、洗濯ばさみを使って遊びましょう。

1歳半頃になると、興味をもったものを引っ張ったりつまんだりすることが楽しくなります。

日頃からお家の人が使っているものに、興味津々な子も多いと思います。身近にある洗濯ばさみを使って遊んでみましょう。

*指をはさんだり、洗濯ばさみが弾けて当たらないように大人がそばについて遊びましょう。

① 洗濯ばさみに触れてみよう！



◎洗濯ばさみに触れてみましょう。一緒に遊んでいるうちに大人の真似をして「楽しそうだな」「やってみようかな」と遊びのヒントにつながります。

② はさんでみよう！



◎保育園では厚紙の台紙に洗濯ばさみをはさんで遊んでいます。シールを貼ったり、動物の絵にしたりしてデコレーションすると、より興味をもてます。

③ つなげてみよう！



◎上級編では、洗濯ばさみ同士をつなげたり、小さなタオルなどを干してみたりするのも楽しそうですね。遊びのイメージが広がります。

「はさむ」「つまむ」という指先の動作を通して、指先の力や集中力を育みます。この指先の力は、お箸を使う、鉛筆で文字を書くなどの動きにつながっていきます。



